

**野球の伝播・普及・定着そして発展 ―日本の野球史を振り返りながら―**

准教授 川 口 啓 太

**1. 研究内容**

「第二の国技だ」とも言われたことがある野球。近年、アメリカ大リーグで活躍する日本人選手も現れ注目を浴びています。野球は、明治時代初期にアメリカから伝播しました。大正、昭和の普及・定着期を経て、現在の令和期まで、それぞれの時代の期待に応え多くの人々に親しまれてきたスポーツの一つです。

スポーツの世界でもグローバル化が叫ばれ、多様化が進む現代。今後の発展のために野球界は、何を模索し、どんな方向性を見出すのでしょうか。ちょっと立ち止まり、歴史を振り返りながら皆で「考え」「議論」を重ね、多面的に野球を捉えていきたいと思えます。

**2. ゼミの進め方**

《2年次》

学校スポーツとしての野球、企業スポーツとしての野球、そしてプロスポーツとしての野球。それぞれの野球の歴史と現状を概観します。

《3年次》

自らが関心のあるテーマを設定し、調査や資料収集をしながら皆で「考え」「議論」をします。

《4年次》

卒業論文としてまとめてもらいます。

**3. 教 材**

「にっぽん野球の系譜学」 坂上康博 著、青弓社

「日本野球はなぜベースボールを超えたのか」 佐山和夫 著、彩流社

「そろそろ、部活のこれからを話しませんか」 中澤篤史 著、大月書店、他

**4. 成績評価の方法**

テーマの設定、調査、資料収集、まとめ、そして発表。また、課題発見・解決への取り組みを皆で積極的に「考え」「議論」しているか。ゼミ合宿や論文の作成を仲間と協力しながら進めているかなどを総合的に評価する。

**5. ゼミ入室試験（選考方法）**

選考方法につきましては、Oh-o!Meijiにて、後日連絡します。

**6. その他・志願者へのメッセージなど**

現場主義、現場を知ってから語ろう。スポーツ観戦に行きます。